

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりです。 http://www.kk-mitsuboshi.co.jp
定時株主総会	毎年6月	上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
基準日		証券コード	5820
定時株主総会	毎年3月31日		
期末配当	毎年3月31日		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号		
および特別口座の	三井住友信託銀行株式会社		
口座管理機関			
株主名簿管理人	大阪府中央区北浜四丁目5番33号		
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)		
インターネット	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/		
ホームページURL			

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



ホームページアドレス <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>



この冊子は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



★★★
2021 Business Report

第77期 中間報告書

2021年4月1日~2021年9月30日

証券コード 5820



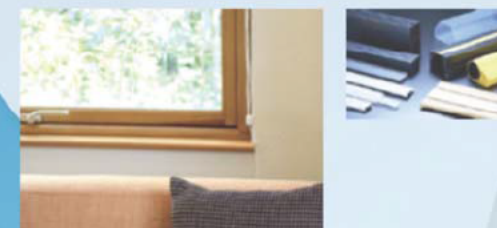
企業理念

三ツ星は「誠意・熱意・創意」を基本姿勢とし、品質・価格・物流の最適化を図り、お客様により高い価値を提供してまいります。

ポリマテック事業

お客様との共同開発で高付加価値製品を創造

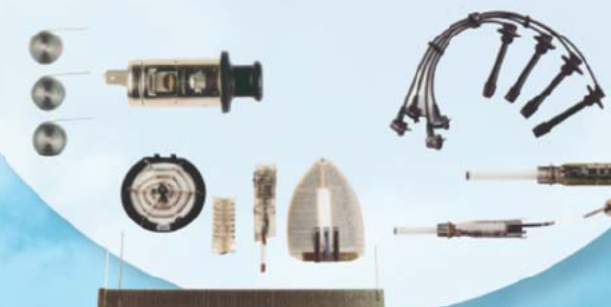
ポリマテック事業部門ではお客様からの商品企画について、その構想段階から製品設計、試作等の共同開発を行い、製品を納入するという受注生産を基本としてお客様とともに歩む姿勢を貫いています。主製品としては建築用ガスケット類・手摺り・配線カバー・幅木などで、施工性の良さと品質面等で高い評価を得ています。また、環境対応というテーマからプラスチック廃材の再生利用にも力を入れ取り組んでおり、社会的貢献の面からもその役割は重要なもので、さらなる取り組みを推進しています。



電熱線事業

電熱線分野で開発した高度の品質と技術を保有 高品質の製品とサービスを提供いたします

電熱線・抵抗線で線径0.04mmまでの極細線を量産製造し、品質面および技術面でお客様から高い評価をいただいております。さらに、お客様のニーズに応えるため、0.02mmまでの極細線の製造も可能にしました。また、伸線および圧延のコア技術を多角的に展開し、モリブデン帯の製造やハステロイ、インコネル、インコロイといった高機能材料の伸線・圧延等にも積極的に取り組んでいます。



電線事業

素材を究めた信頼性で 業界トップシェアを獲得

多彩な製品ラインアップ。あらゆる現場のニーズに対応します。キャブタイヤケーブルをはじめとする各種電線は、天然ゴム・合成ゴム・プラスチックなどを主原料としています。三ツ星では、これら素材の特性を最大限に引き出し、つねに高品質な製品を生産し続け、多くのお客様より高い信頼を獲得してきました。これからは製品ラインアップを豊富に取り揃えることで、あらゆる現場でのニーズに対応。過酷な用途に耐え、作業の効率化や安全性、省コスト化に貢献できる製品づくりを目指します。



株主の皆様へ

To Our Stockholders

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第77期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 競 良一



■ 事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されたことで経済活動が制限され、厳しい状況が続きました。ワクチン接種の促進により景気の回復が期待されるものの、依然として先行きは不透明な状況であります。

このような状況の中、当社はESG(環境・社会・統治)を中核に据えた経営方針のもと「新分野開拓」「新製品創出」「新顧客増強」「新グローバル戦略推進」の4S運動に取り組んでおります。自然災害の頻発と防災意識の高まり、脱炭素化社会への流れなどめざましく変化する環境に適応し、さらに環境そのものの改善に役立ち貢献することを第一義に活動しております。

当社グループに係る事業環境では、公共投資関連は底堅く推移いたしました。当社は特に力を入れております防災・復旧工事への取り組みを中心に展開いたしました。しかし、住宅建設関連市場は、新設住宅着工戸数が前年比増と回復基調にあるものの厳しい状況が続いております。また、国内子会社では、自動車業界に関連する分野への販売が増えつつあり、自動車業界での半導体不足による減産影響もでており先行き不透明な状況ではありますが、新規取引先からの受注が増加したことにより、大幅な増収増益に繋がりました。

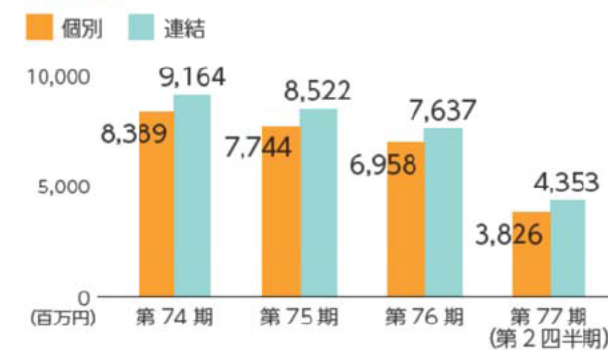
また、当期は基幹システムを5月より刷新したことで、生産性向上に寄与し、業務の効率化に繋がりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,353百万円(前年同期比23.1%増)、営業利益は123百万円(前年同期比50.9%増)、経常利益は161百万円(前年同期比22.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は175百万円(前年同期比92.3%増)となりました。

財務ハイライト

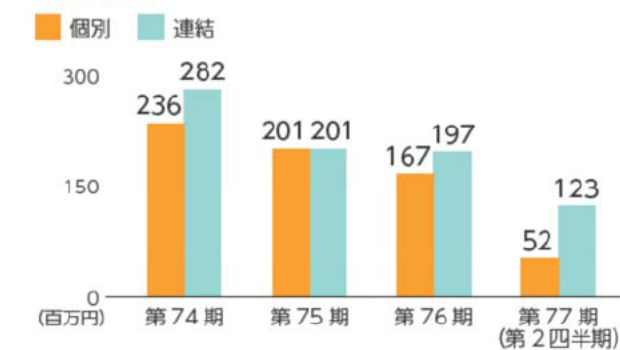
Financial Highlights

売上高



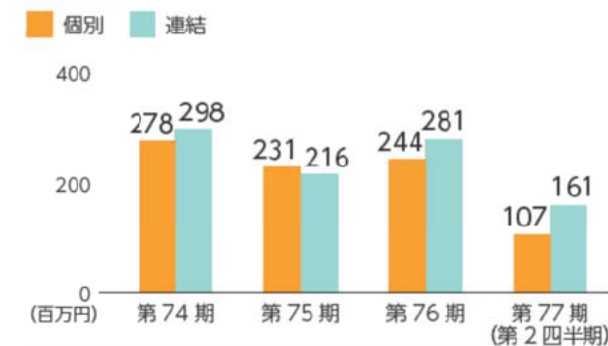
ポリマテック事業では減収となりましたが、電線事業および電熱線事業において増収となったため、前年同期に比べ、増収となりました。

営業利益



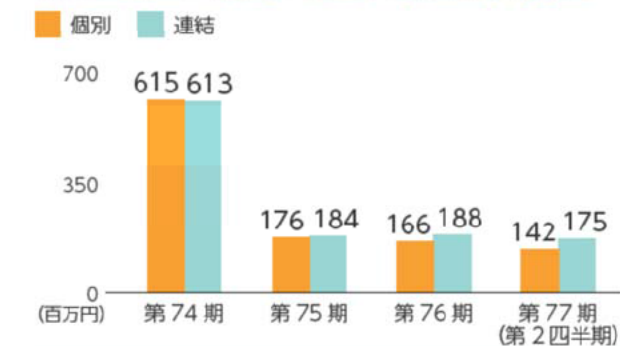
電熱線事業で大幅に増益となったため、グループ全体では前年同期に比べ、増益となりました。

経常利益



営業利益の増益に伴い、前年同期に比べ、増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



経常利益の増益に伴い、前年同期に比べ、増益となりました。

事業別の概況

Segment Information

電線事業



売上高の推移



製品紹介

業界トップシェアを誇る[キャプタイヤケーブル]
600V以下の移動用電気機器、配線等に使用されるキャプタイヤケーブルを主製品とし、その他多目的産業用キャプタイヤケーブル、溶接用ケーブルなど 産業用電線なら三ツ星という定評をいただいております。

当第2四半期連結累計期間の活動報告

当事業の主要な市場である建設・電販は、新型コロナウイルス感染症の影響により国内外経済の下振れリスクが大きく需要は減少基調で推移いたしました。

ただし、国内銅価格は依然1,091千円/トン(期中平均)と高値で推移したことで、売上高は2,958百万円となりました。

また、海外子会社での新事業が軌道に乗った効果もあり売上に貢献し、現地販売でのBioBにも大きく寄与いたしました。

営業利益につきましては、適正価格での販売、高付加価値製品の販売強化、継続的な経費削減等に取り組みましたが62百万円と前年同期より減少する結果となりました。

新製品の開発におきましては技術開発センターが中心となり、今期、新素材となる炭素繊維を複合化した耐張力、耐屈曲性能を有するマルチ ケーブルの販売を開始し、さらに自然災害に備えたケーブルとして緊急災害用ケーブル (ED-CV 耐張力・水密型ケーブル) を開発いたしました。

今後も製品開発を技術・営業の両部門が連携し新分野開拓を行い、新製品創出に向けた産学連携を強化し、社会に貢献できるモノづくりに取り組んでまいります。

ポリマテック事業



売上高の推移



製品紹介

オフィスから暮らしまで、幅広いニーズと市場
住宅建材からOA機器分野、産業資材分野まで、省コスト仕様の高品質により高い評価を得ています。木材複合樹脂やプラスチック廃材を再生利用した製品は、これからの環境対応というテーマからも注目されています。

当第2四半期連結累計期間の活動報告

当事業に関連のある新設戸建住宅着工戸数は前年比11.1%増と大きく増加いたしました。新規案件獲得の遅延が影響し売上を伸ばすことができませんでした。また、前期に業績を牽引していた下水工事関連部材の管更正とオフィス関連部材の受注の落ち込みも大きく、売上高は912百万円となりました。

利益面につきましては、生産性の改善や材料ロスの低減等に取り組みましたが、生産量の減少が効率生産に大きく影響したことと原材料の値上げが重なり営業利益は7百万円となりました。

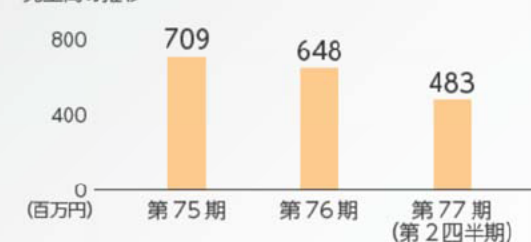
なお、自社開発の抗ウイルス製品については性能試験が終了し販売を始めました。

今後は通常のプラスチックの強度に比べて耐熱性、耐摩耗性といった特定の機能が大幅に強化されたエンジニアリング・プラスチックの押出技術確立し、製品開発を進めてまいります。

電熱線事業



売上高の推移



製品紹介

伸線・圧延技術を活用した事業展開
どこのお家にもあるヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫、テレビといった家電製品向け製品のほか、自動車のシガレットライターや高圧ケーブル、電子機器向けの製品を開発するなど、幅広い分野での活用が期待されます。

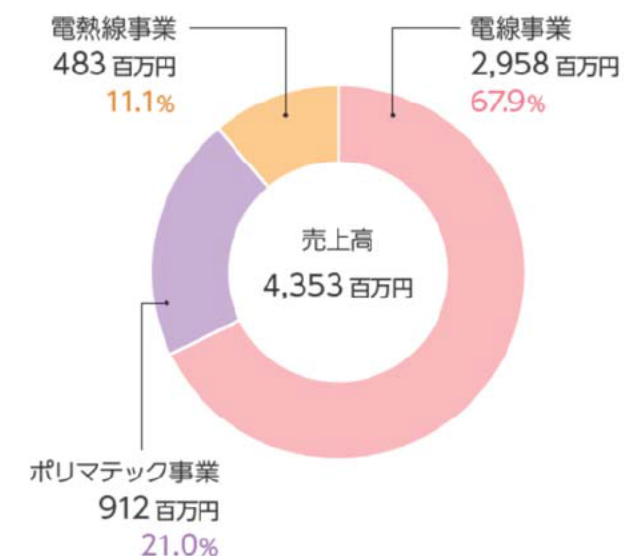
当第2四半期連結累計期間の活動報告

当事業では、自動車、半導体に関する産業機器、抵抗器等の部品向けを中心に需要が拡大し、特に産業用ロボット向け抵抗器需要が好調に推移いたしました。自動車のEV化の進展やカーボンニュートラルを背景に、電気制御に必要な抵抗器の需要は今後も拡大が続くものと思われます。

一方、業界全体では、需要回復に加え、BCP対策や、在庫水準の見直しなどを背景に、様々な材料の調達環境が逼迫し、納期の長期化が常態化しつつあります。

このような状況の中、当事業ではスピード感のある営業対応や生産性向上など供給体制の強化を図り、納期の短縮化に取り組んでまいりました。その結果、市場やお客様のニーズを取り込み、売上高は483百万円、営業利益は53百万円となりました。

■売上高構成比

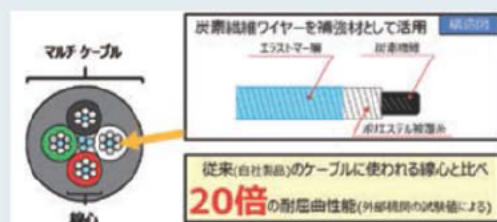


1. 新製品のご案内

(1) マルチ ケーブル

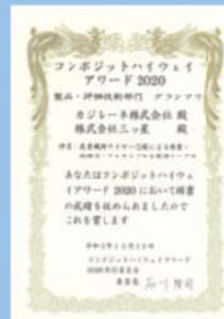
2021年8月、マルチ ケーブルの販売を開始いたしました。マルチ ケーブルは、炭素繊維ワイヤーを補強材として活用しております。

また、マルチ ケーブルの線心は従来(自社製品)のケーブルに使われる線心の20倍の耐屈曲性能を有しております。



マルチ ケーブルは グラブプリを受賞した技術 を実用化したものであります。

2020年12月、当社は『第4回コンポジットハイウェイアワード 2020』において「炭素繊維ワイヤー芯線による軽量・高強力・フレキシブルな電源ケーブル」の技術でグラブプリを受賞いたしました。



○主催
コンポジットハイウェイコンソーシアム

○共催
経済産業省中部経済産業局

○審査機関

—大学・研究機関—
名古屋大学、岐阜大学、金沢工業大学、
産業技術総合研究所中部センター

—企業—

アイシン精機、JAXA、鹿島建設、スズキ、SUBARU、
大和ハウス工業、帝人、JR東海、東レ、トヨタ自動車、
本田技術研究所、三井物産、三菱ケミカル、三菱自動車工業

活用事例

建設工事

耐久性(引っ張り、ねじりに対する強さ)が求められるタワークレーンで使用できます。



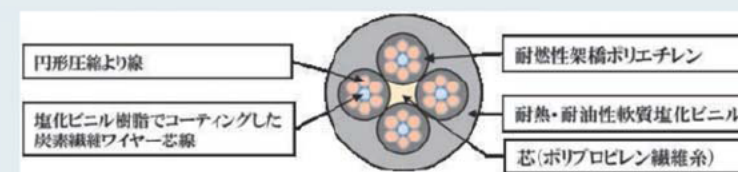
河川・港湾工事

河川工事の水中ポンプで使用できます。



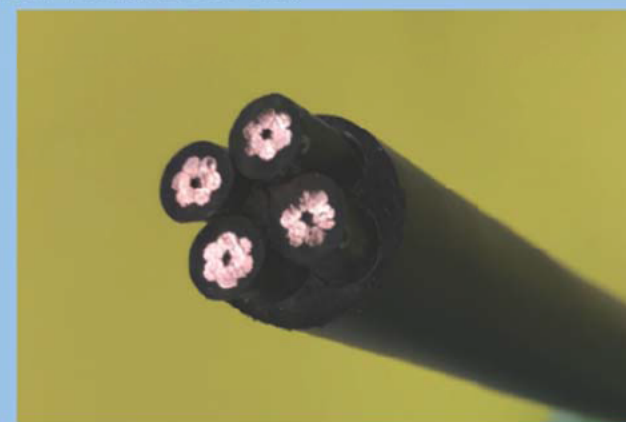
(2) 緊急災害用ケーブル

2021年11月、緊急災害用ケーブルを開発いたしました。被災時にライフラインとなる電力供給の寸断や、断線による漏電・火災などの二次災害リスクに備えた耐張力・水密型のケーブルです。



ケーブル端末から導体内部への 湿気や水分の侵入を防ぎます。

「円形圧縮より線」を採用することで、導体素線同士の隙間を無くし、さらに導体中央に「塩化ビニル樹脂でコーティングした炭素繊維ワイヤー芯線」を挿入して密着させています。



活用事例

屋内配線



屋外配線



2. 新分野への取り組み

(1) 海洋・河川分野

当社の電線は、海洋・河川土木工事で使われる水中作業機械(水中バックホウなど)や、漁船が魚を集めるために使う水中灯の給電ケーブルとして高い信頼を得ております。

当社は、これまでの「水」関連分野での強みを活かし、今後、自然災害に備えた防災工事や復旧工事、洋上風力発電、ダムの点検や補修などで役立つ付加価値の高い商品を提案してまいります。



水中作業機械(水中バックホウ)



水中灯

技術開発力の強化に力を入れております

2020年2月に設立した技術開発センターでは、お客様のご要望に応じた製品を開発すべく研究資源、設備を充実させております。また、産学連携や他業界の企業との共同開発を積極的に進め、課題解決に取り組んでまいります。

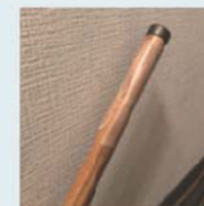
2021年11月には、海洋・河川分野に特化した研究組織「アクアラボ」を設置し、本分野へ一層力を入れてまいります。



(2) 抗ウイルス分野

コロナ禍の環境を踏まえ、当社はウイルスを不活化することができる手摺りカバーを開発いたしました。

抗ウイルス性能を有した材料を使用しており、カバーを被せることでウイルスによる感染症のリスクを抑えます。



手摺りに両面テープを貼り付けます

位置を合わせ製品を被せます



カバーに付いたウイルスを不活化し感染症リスクを抑えます

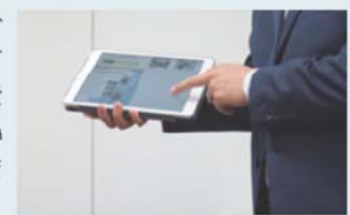


抗ウイルス手摺りカバー

3. お客様サポートの新たな取り組み

新たな提案ツール

様々な商品を分かりやすく説明するために「iPad」を導入し動画を用いた提案を始めました。



加工体制を強化

端末加工ご希望のお客様にいち早く商品をお届けできるよう、羽曳野工場(大阪)に電線加工の専門部署を新設いたしました。



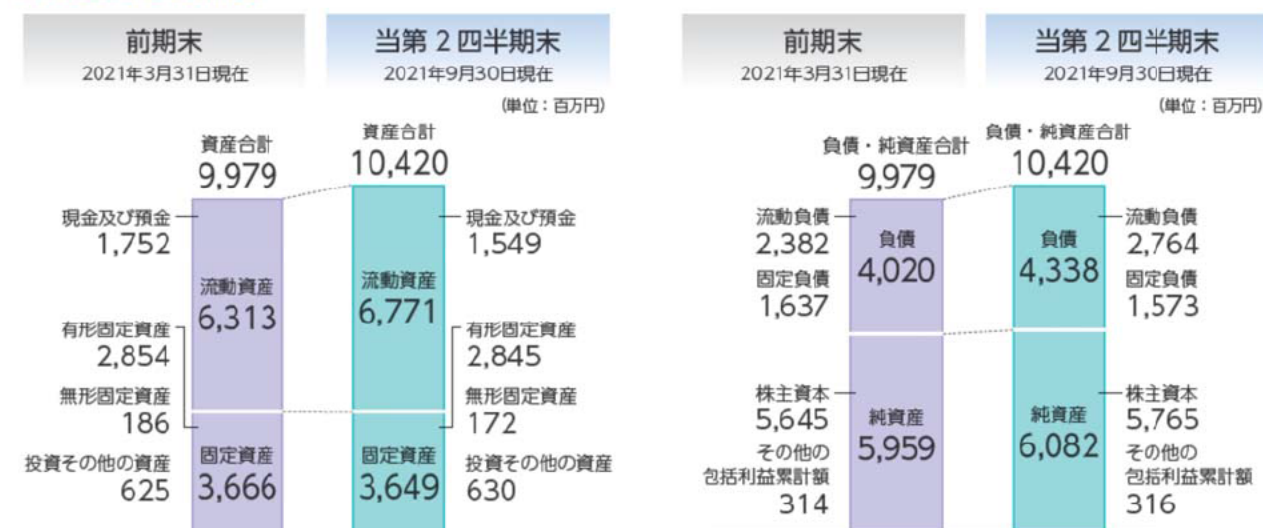
4. グローバルへの展開

国際事業部には、英語はもちろん、様々な言語(中国、ポルトガル、ベトナム、インドネシア)に対応できるスタッフが揃っております。各国に精通したスタッフが海外のお客様のご要望にもお応えいたします。

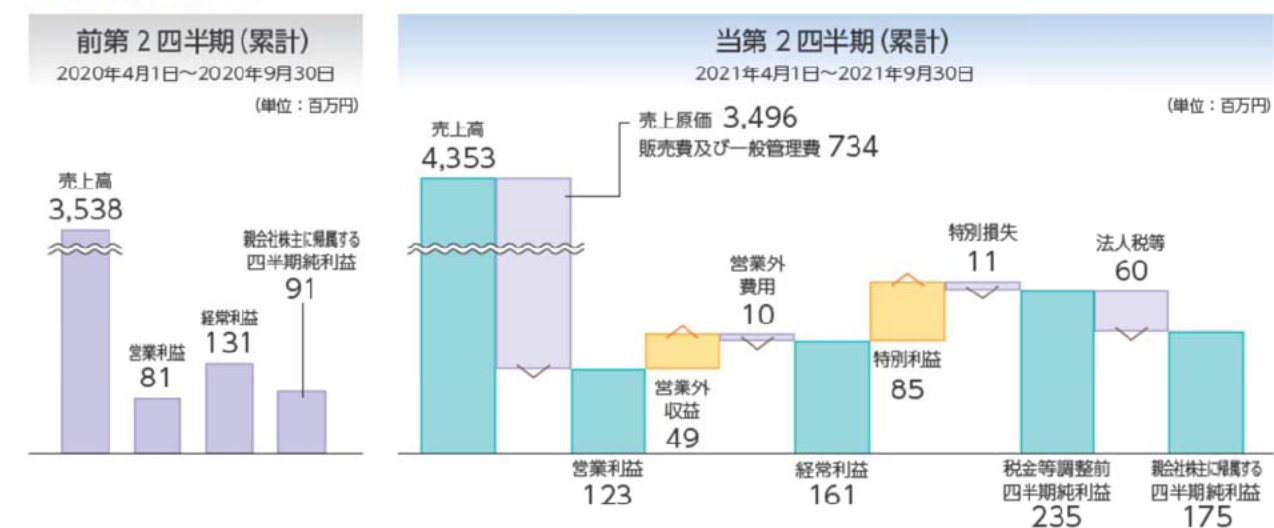
連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

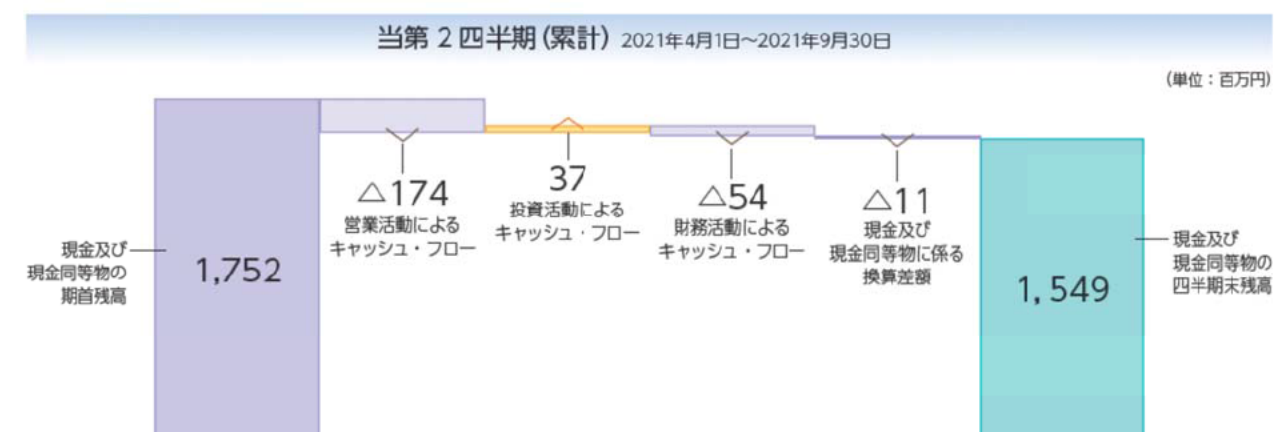
■ 連結貸借対照表



■ 連結損益計算書



■ 連結キャッシュ・フロー計算書



ポイント解説

- 総資産額
前期末に比べ、4億40百万円増加し、104億20百万円となりました。
これは主に商品及び製品の増加があったことによるものです。
- 負債総額
前期末に比べ、3億18百万円増加し、43億38百万円となりました。
これは主に電子記録債務の増加があったことによるものです。
- 純資産総額
前期末に比べ、1億22百万円増加し、60億82百万円となりました。
これは主に利益剰余金の増加があったことによるものです。

株式の状況／会社概要

Stock Information / Corporate Profile

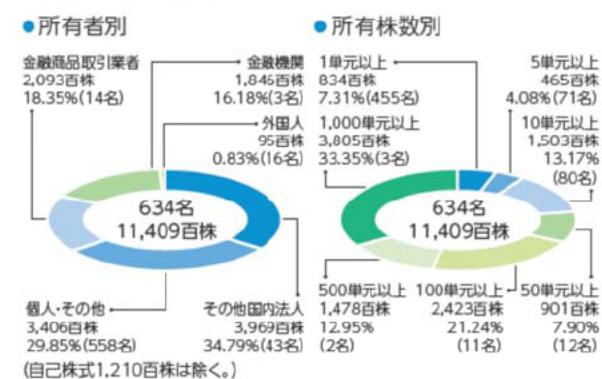
株式の状況 (2021年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 3,800,000株
- 発行済株式の総数 1,145,649株
(自己株式121,006株を除く。)
- 株主数 774名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本証券金融株式会社	146,600	12.80
株式会社SBI証券	122,100	10.66
有限会社ツカモト	111,800	9.76
スリースター有限会社	92,630	8.09
立花証券株式会社	55,200	4.82
津田電線株式会社	38,600	3.37
有限責任事業組合HDDインベストメント 組合員 海容JAPAN株式会社	38,000	3.32
三井住友信託銀行株式会社	29,400	2.57
西崎ひとみ	23,045	2.01
有限責任事業組合HDDインベストメント	21,100	1.84

(注) 1.上記のほか、当社が自己株式121,006株を保有しております。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (単元株以上)



主要な事業内容

当社グループは、次の製品の製造・販売および仕入商品の販売を行っております。

事業部門	主要品目
電線事業	天然ゴムキャブタイヤケーブル、合成ゴムキャブタイヤケーブル、架橋ポリエチレンケーブル、溶接用ケーブル、制御用ケーブル、プラスチックキャブタイヤケーブル、プラスチックコード、その他
ポリマテック事業	プラスチック押出成形品、射出成形品、真空成形品、高性能チューブ、LED関連商品、その他
電熱線事業	電熱線・帯、その他

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長 競 良 一

取締役 松山 元

執行役員 前田 康智

取締役 (監査等委員) 大林 良寛 (社外)

取締役 (監査等委員) 中村 健三 (社外)

取締役 (監査等委員) 奥澤 望 (社外)

(注) 1.取締役(監査等委員)大林良寛氏、中村健三氏および奥澤望氏は、社外取締役であります。
2.取締役(監査等委員)大林良寛氏、中村健三氏および奥澤望氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

従業員の状況(当社グループ) (2021年9月30日現在)

(連結) 236名(94名)
(個別) 163名(71名)

(注) 従業員数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は()内に6ヶ月間の平均人員を外数で記載しております。

ネットワーク

Network



主要な事業所

当社

本 社 〒541-0053
大阪市中央区本町一丁目4番8号
エスリードビル本町5階
TEL 06(6261)8881(代表)

大 阪 支 店 (電線事業部・ポリマテック事業部)
〒541-0053
大阪市中央区本町一丁目4番8号
エスリードビル本町5階
TEL 06(6261)8884(代表)

(電線事業部) TEL 06(6261)8884(代表)

(ポリマテック事業部) TEL 06(6261)8885(代表)

東 京 支 店 (電線事業部・ポリマテック事業部)
〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸船町一丁目2番1号
リーラック第一ビル
6階 (電線事業部)
7階 (ポリマテック事業部)

(電線事業部) TEL 03(6897)8660(代表)

(ポリマテック事業部) TEL 03(6897)8663(代表)

九 州 支 店 〒815-0081
福岡市南区那の川一丁目9番19号
TEL 092(526)2615(代表)

名 古 屋 支 店 〒465-0095
名古屋市名東区高社一丁目253番地
一社プラザ4階402号室
TEL 052(760)4636(代表)

滋 賀 工 場 〒520-3306
滋賀県甲賀市甲南町柑子1061番地3
TEL 0748(86)6104(代表)

羽 曳 野 工 場 〒583-0867
大阪府羽曳野市河原城534番地
TEL 072(939)4561(代表)

シルバー鋼機株式会社

本 社 〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸船町一丁目2番1号
リーラック第一ビル7階
TEL 03(5651)7220(代表)

MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION

(フィリピン共和国) LOT11 BLOCK12 FIRST CAVITE
INDUSTRIAL ESTATE
BRGY.LANGKAAN,DASMARINAS,
CAVITE,PHILIPPINES4114